

## 産業廃棄物処理計画書の記入要領

項目	説明
提出者について	産業廃棄物処理計画書の提出者は、多量排出事業者が法人の場合は法人の代表者です。ただし、処理計画書の作成単位である支店等の代表者で提出することもできます。
提出者の住所	提出者の住所を府県名から記載してください。個人事業者の場合も考え方は同様です。
提出者の氏名	個人の場合は個人の氏名を記入してください。屋号がある場合には屋号も記載してください。法人の場合は法人名、支店等の名称、代表者の氏名を記入してください。（代表者印、会社印等の押印はしないでください。）
提出者の電話番号	上記提出者の電話番号を記入してください。
事業場の名称 (行政庁管轄内事業場)	事業場の名称を記入してください。
事業場の所在地	上記事業場の所在地を記入してください。
計画期間	処理計画の計画期間を記入してください。
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	日本標準産業分類の「大分類A－農業、林業」に該当する中分類コード及び事業区分(01 農業)を選択し、記入してください。
②事業の規模	飼育頭数を記入してください。
③従業員数	事業場の従業員数を記入してください。
④産業廃棄物の一連の処理の工程	当該事業場において生ずる産業廃棄物について発生から最終処分が終了するまでの一連の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む）を記入してください。書ききれない場合は、別紙を添付してください。
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
管理体制図	管理体制図には役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載してください。既存資料を添付することも可能ですが、個人情報に該当する内容（社員の個人名等）については、削除してください。書ききれない場合は、別紙を添付してください。
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
産業廃棄物の種類・排出量	産業廃棄物の種類ごとの排出量（トン単位）の「①現状（前年度実績）」と「②計画」を記入してください。 （※産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、右側のセルに続けて入力してください。以下、第2面～第5面については同様です。）
実施した（実施予定の）取組について	取組内容及び対象となる産業廃棄物の種類を記載するなど、記入例を参考に、具体的に記載してください。
産業廃棄物の分別に関する事項	
	分別に関する産業廃棄物の種類及び取組について、「①現状」と「②計画」を記載してください。

項目	説明
自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項	
	自ら行う産業廃棄物の再生利用について、産業廃棄物の種類ごとに、前年度の実績、今年度の目標及び取組を記入してください。
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項	
	産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、今年度の目標及び取組を記入してください。
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項	
	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分について、産業廃棄物の種類ごとに、前年度の実績、今年度の目標及び取組を記入してください。
産業廃棄物の処理の委託に関する事項	
	産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（法施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（法第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
その他留意事項	
別紙の添付について	それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付してください。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入してください。
個人情報の記載について	処理計画書は、公表制度（公衆への縦覧（H23.10.1からはインターネットによる公表））の対象となるため、代表社印、社員の個人名等、個人情報に該当する内容については、記載しないようにしてください。

産業廃棄物処理計画書

平成30年 ○月○○日

大分県知事 殿

代表者印、社印  
等の押印は不要

記載例は、以下の場合で示します。

- ・肉用牛農家
- ・ふん尿は自らたい肥化
- ・死体は化製場へ処理を委託

提出者

住 所 **大分県○○市○○町○丁目○番○号**

氏 名 **○○牧場株式会社**

**代表取締役 大分 太郎**

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 **○○-○○○○-○○○○**

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	○○牧場
事業場の所在地	□□市□□町□□丁目□番□号 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">計画書を提出する年度を記入</div>
計画期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	<b>01 農業</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">飼育頭数を記入</div>
②事業の規模	<b>肉用牛190頭</b>
③従業員数	<b>5人</b> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">廃棄物の発生から最終処分までの一連の処理工程（処理を委託する場合は、委託内容を含む。）を記入すること。</div>
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<b>動物のふん尿</b> ①自ら堆肥化 ②処理業者に委託して、堆肥として再資源化 ③利用組合へ委託して堆肥化 etc <b>動物の死体</b> ①化製場へ委託処理 ②処理業者へ委託処理 etc

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項		役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載する。既存資料の添付可（ただし、個人名は削除してください）	
(管理体制図) <b>場長(廃棄物統括責任者)</b>			
廃棄物処理方針の決定 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認			
<b>事務員(廃棄物実務担当者)</b> 廃棄物処理計画の作成 委託契約の締結事務 産業廃棄物管理票の交付・管理 行政等への各種報告			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項		昨年度の平均頭数から計算したふん尿量	
①現状	【前年度(平成26年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	<b>動物のふん尿</b>	<b>動物の死体</b>
	排 出 量	<b>1,843 t</b>	<b>2 t</b>
	(これまでに実施した取組) <b>該当なし</b>		
排出抑制のために実施している取組があれば記載すること。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	<b>動物のふん尿</b>	<b>動物の死体</b>
	排 出 量	<b>1,843 t</b>	<b>2 t</b>
	(今後実施する予定の取組) <b>該当なし</b>		
今年度の平均予想頭数から計算したふん尿量。頭数に大きな変動が無ければ現状と同じ。			
産業廃棄物の分別に関する事項		豚飼養の場合等でふんと尿を分別して処理していれば記載すること。	
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <b>該当なし</b>		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) <b>該当なし</b>		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		実施状況報告書の第2面 フロー図の②+⑧	
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	1,240 t	
	(これまでに実施した取組) ・堆肥化		自ら実施している再生利用に関する取組を記載すること。
② 画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	1,240 t	
	(今後実施する予定の取組) ・堆肥化		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		実施状況報告書の第2面 フロー図の⑦	
① 現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	603 t	
(これまでに実施した取組)			
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	603 t	
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取組) ・該当なし		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取組) ・該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量		2+
	優良認定処理業者への処理委託量		
	再生利用業者への処理委託量		
	熱回収を行う業者への処理委託量		
(これまでに実施した取組) ・動物のふん尿は再生利用業者へ全て処理委託し堆肥化している ・動物の死体は化製場に委託し処理している			

化製場に委託した場合、全処理委託量に記載すること。  
実施状況報告書の第2面フロー図の⑩

堆肥化する場合は再生利用業者への処理委託量にその量を記入すること

3種類以上ある場合は、右側のセルに続けて入力してください。

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
	全処理委託量		2+
	優良認定処理業者への 処理委託量		
	再生利用業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者への 処理委託量		
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		
	(今後実施する予定の取組) <b>・処理を委託する場合は今後も再生利用業者へ委託する</b> <b>・動物の死体は化製場に委託し処理している</b>		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成**30**年 ○月 ○日

大分県知事

殿

提出者

住所 **大分県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号**

氏名 **〇〇牧場株式会社**

**代表取締役 大分 太郎**

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、**29**年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	〇〇牧場				
事業場の所在地	□□市□□町□□丁目□番□号				
事業の種類	<b>01 農業</b>				
産業廃棄物処理計画における計画期間	<b>平成29年4月1日～平成30年3月31日</b>				

報告書を提出する前年度を記入

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値		前年度提出した計画書に記載した目標値を記入	目標値	
	動物のふん尿	動物の死体		動物のふん尿	動物の死体
排出量	<b>2,000 t</b>	<b>2 t</b>	産業廃棄物の種類	動物のふん尿	動物の死体
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	<b>1,346 t</b>		全処理委託量		<b>2 t</b>
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量			優良認定処理業者への処理委託量		
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	<b>654 t</b>		再生利用業者への処理委託量		
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量			認定熱回収業者への処理委託量		
			認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		

※事務処理欄

(第3面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動物のふん尿)

産業廃棄物の種類ごとに記入

不要物等発生量

有償物量

排出量

① 1,843 t

自ら直接再生利用した量

②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 1,240 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨

自ら中間処理した量

④ 1,843 t

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 1,240 t

④のうち熱回収を行った量

⑤

自ら中間処理により減量した量

⑦ 603 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪

項目	実績値
①排出量	1,843 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	1,240 t
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	603 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	

該当項目に数量を記入してください。

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動物の死体)

